

令和6年度 日南町立認定こども園・小学校・中学校 経営方針

1 こども園（学校）経営の基本理念

- (1) 「子どもの権利条約」の4つの原則「命を守られ成長できること」、「子どもにとって最もよいこと」、「意見を表明し参加できること」、「差別のないこと」を尊重し、すべての子どもの人権を第1に考えた保育・教育を積み重ねていきます。
- (2) 「日南町園・学校運営協議会」の設置により、各園・学校に保護者や地域住民が参画することを通して、「地域とともにある学校づくり」を行い、日南町ならではの創意工夫された特色ある園・学校づくりを推進していきます。
- (3) 「日南町の子どもの教育在り方検討会答申」の具現化に向け、「持続可能なふるさと日南」を創る1歳からのカリキュラムの在り方を検討し、1歳から18歳までの教育内容の充実に向けた「オール日南」の協働的な教育環境を整えていきます。
- (4) 「日南町こども園・小学校・中学校一貫教育（学び舎にちなん）」を実践し、組織的に「学び続ける力」「関わり合う力」「ふるさとを愛する心」の育成をめざし、各発達段階に応じて、意図的・計画的で科学的根拠のある教育実践を園・学校と家庭・地域が協働して展開していきます。

2 日南町の教育目標

「ふるさとを愛し、豊かな人間性と生き抜く力を育み、

持続可能な未来を創造する優れた人材を育成する」

3 校（園）訓

『生き抜く力』

～ 見つめよ自己を 求めよ友を 惜しむな汗を ～

4 本（園）校の教育目標

「ふるさとに学び、夢に向かい、生き生きと輝く子どもの育成」

5 めざす（園）学校像

- (1) 夢や目標に向かって努力し、お互いの人権を尊重し、仲間と協働できる子ども
- (2) 子どもの成長を園・学校と連携をとりながら、一緒に見守り支えていける保護者
- (3) 地域全体で日南の子どもの成長に関わっていける地域住民
- (4) 教師としての誇りを持ち、自ら研鑽を積む教職員

認定こども園

6 めざす子ども像

- *学び続ける力…自分の考えを持ち、遊びきる子ども
- *かかわりあう力…自分を好きになり、友達(人)も大切にできる子ども
- *ふるさとを愛する心…地域に触れ、地域に親しみ自分を表現する子ども

7 めざす教職員像

- (1)好きなことから自己研鑽し、主体的に考え、学びにつながる環境を整える教職員
- (2)自分のこととして考え対話を大切にしながら、保護者や子どもに寄り添う教職員
- (3)発想を豊かに、子どもの力を信じ、子どもの素質を引き出す教職員

8 経営のテーマ(キャッチフレーズ・キーワード)

『ともに、主体的に、育ちあう仲間』

～地域とのかかわり、異年齢でのかかわりを通して～

9 教育目標実現化のための重点事項及び具体的な方策

基本理念のもと、どこにいても「ふるさとにちなん」に感謝し、夢を持ち、主体的に考え、選び、自分の人生を豊かに創造し、多様性を認め、出会った人との対話を通して、ともに協力して困難も乗り越えられる力を育んでいきます。

非認知能力の育成

(重要事項1)

○自己決定

- ・子ども主体の保育
- ・ねらいに応じた選択制の保育
- ・STAMES 教育(対話型鑑賞)

(重点事項2)

○異年齢遊び(保育)

- ・異年齢での活動(個性をはぐくむ活動)
- ・かかわりを大切にした保育
- ・チーム保育(複数の目で子どもを見守る)

(重点事項3)

○地域に触れる

- ・目育・農業体験・CS 活動(地域の方に学び、体験する)
- ・絵本の読み聞かせ・素話
- ・異文化に触れる活動

日南小学校

6 めざす子ども像

- * 学び続ける力・・・わかる喜びを感じ、自ら学びに向かう子
- * かかわりあう力・・・自分も友だちも大切にし、進んでかかわる子
- * ふるさとを愛する心・・・ふるさと日南を知り、ふるさと日南から学ぶ子

7 めざす教職員像

- (1) 強みを活かして、協働する教職員
- (2) 子どもの可能性を信じ、最後まで粘り強く指導する教職員
- (3) 子どもや保護者、地域の願いを受け止める教職員

8 経営のテーマ（キャッチフレーズ・キーワード）

『 つながり ～仲間と繋がる 地域と繋がる 未来（なりたい自分）と繋がる～』

***やさしい言葉でつながろう(児童も先生も)**

9 教育目標実現化のための重点事項及び具体的な方策

基本理念のもと、わかる喜びを感じ、進んで粘り強く学びに向う力、自分も友だちも大切にし、関わり合う中でお互いの気持ちを受け止め合い、自分たちでよりよい解決を見つけていく力、「ふるさと日南」から学び、日南のよさを見つけ、夢に向かって生きる力を育成します。

(重点事項1)【かかわりあう力】

○自己肯定感を育み、多様な考えを認め合える温かい人間関係を築きます。

- ・学級づくり、仲間づくり
- ・子どもが主体で取り組む特別活動（児童会、学級会など）
- ・異学年交流（たてわり遠足、たてわり掃除、ペア学年活動など）
- ・こども園、中学校交流、他校との交流

(重点事項2)【学び続ける力】

○学習への意欲（非認知能力）を高め、意見や思いを交流する中で、つけたい力の定着を図ります。

- ・知的好奇心の喚起（教材選び、提示の方策など）
- ・基礎学力の定着（がんばるウィーク、書取計算会、にちなんタイムなど）
- ・ICT活用（オンライン、タブレット、電子黒板、Pepper など）

(重点事項3)【ふるさとを愛する心】

○ふるさと日南の自然、文化、歴史、人にふれ、ふるさとへの愛着と誇りを育みます。

- ・課題意識、意欲を持って取り組む日南学（生活科、総合的な学習の時間など）
- ・地域に出かけ、地域の方に学ぶふるさとキャリア教育（コミュニケーション力、プレゼンテーション力、発信力の育成）
- ・自分の夢や目標をもち、がんばる児童を応援する地域との連携

日南中学校

6 めざす生徒像（主体、共創）

- * 学び続ける力・・・自ら考え、判断し、努力を続け、可能性を伸ばす生徒
- * 関わり合う力・・・違いを理解し、他者を尊重し、共に新たな価値づくりや解決に向かう生徒
- * ふるさとを愛する心・・・自分を愛し、ふるさとや自分の将来に向け、主体的に取り組む生徒

7 めざす教職員像

- (1) お互いの悩みや困り感を素直に出し合え、弱みを補い合える。
- (2) 子どもの言動の内にあるものを理解しようと心がけ、粘り強く支援、指導ができる。
- (3) 聞く姿勢（カウンセリングマインド）を第一に対話を重ね、子どもや保護者の願い、思いを受け止められる。

8 経営のテーマ

『 一人ひとりがチーム日南を意識し、皆で動く 』

生徒、保護者の情報は、時間をおかず、報告・連絡・相談をする。生徒（保護者）に対し、チームとして共通に取り組めるようにする。

※学年団で状況分析・協議→主任会で報告・協議→学年団あるいは学校全体で一手

↓ 各種対策委員会 ↑

9 教育目標実現化のための重点事項及び具体的な方策

- ・ 園小中一貫教育を推進（理念の見える化と共有、園小中の特性や発達段階を生かし、子どもの学びや育ちの継続性や系統性を持った実践を行う）し、日南町の将来・未来を担って生きる人材の育成を目指します。

（重点事項1）

○関わり合う力の育成

- ・ 生徒が主体的に行事・活動を行い、自分の役割を持ったり、達成感や感動を共有し合ったりして、一人ひとりの自己有用感、自己肯定感を高める。
- ・ 地域の人と様々な活動を共にを行い、思い・願いを知ったり、人に認められたりする経験を積み、自尊感情を高める。
- ・ 普段の学び合いの学習の中、また、人権学習、朝鑑を通し、人はみな違うことを理解し、よさや弱さを認め合ったり、自分が安心して出せたり（分からない、困った、どうした？と言える）できる仲間づくりを行う。
- ・ 生徒との教育相談等、一人ひとりに声かけ、話しをする時間を確保し、生徒に寄り

添える教職員チームになる。

- 生徒も教員も安心感、やりがい、充実感がもて、自他を大切にする集団
- ・日々の生活の中で、人権尊重の精神と行動が生かされる指導や支援を継続して行い
いじめ等の未然防止、早期発見、迅速対応を行う。

(重点事項2)

○学び続ける力

- ・協同学習の理念を基に、授業づくりの10のポイントを全職員で実践する。
- ・「個人思考」「学び合い」の時間を計画的に保証して、「じっくり考えさせ、教師は待つ姿勢を大切にする。全員が1時間の内「わかった」「できた」と実感できる授業改善を進める。
- ・放課後補習、家庭学習では「今月の宿題一覧表（計画表）」を作成し、自ら計画的に行えるようにする。（補習で取り組み始め、続きは家庭で行うなど）
- ・タブレット持ち帰りで自分に適した課題を繰り返し行い、基礎・基本の徹底と学習意欲の高揚に繋げ、生徒によってはレベルを上げた課題設定も行う。
- ・各教科でタブレットを活用した学習の工夫を積極的に行い、個の学力に対応した効果的活用を行う。
- ・学び合いで学習の理解や基礎・基本の定着ができない生徒に対しては、個別に読み書きや計算などの力を実態把握し、受診や放課後の補習やカウンセリングで細かく対応していく。
- ・学び続けるために非認知能力の一つである「自己決定力」を育てていく。そのために、学習や活動において、自分（達）で決めて行く場面をもうける。

(重点事項3)

○ふるさとを愛する心（自分を愛し、夢に向かう力）

- ・ふるさとキャリア教育（日南学）では、各学年の題材のねらい（園小中で系統性をまえる）をしっかりと押さえた上で計画・実践する。実践は記録し、次年度へ引き継ぐ。
- ・地域の人のお話や対話、フィールドワーク、調べ学習により、ふるさとの良さや課題に目を向け、主体的に自分の夢とまちの未来を考え、解決や目標（夢）に向けて取り組む力を育成する。
- ・地域でのボランティアの情報を積極的に生徒に伝え、中学生の存在を生かした活動に協力すると共に、行事等の計画も「地域への貢献」を意識して行う。
- ・非認知能力（社会情緒スキル）の意欲、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心など一貫教育で何を優先にどう育成していくのか、データをもとにしながら研究に取り組んでいく。